

# インフラの点検・道路ストック総点検 講習会開催

10月10日（木）、管内の自治体担当者を対象とした「インフラの点検」及び「道路ストック総点検」に関する講習会（北後志地区）が開催されました。

これは、小樽開発建設部が後志総合振興局と協力し、インフラの老朽化対策及び道路ストック総点検について、自治体への支援の一環として行ったものです。

当日は、余市町内で路面下空洞調査及び道路附属物等の点検について現地講習を行った後、小樽道路事務所において、インフラの点検及び道路ストック総点検についての講義が行われました。

なお、同講習会は10月21日（羊蹄地区）及び10月22日（西後志地区）にも開催されました。



路面下空洞探査車

電磁波を用いた地中レーダーアンテナにより異常信号を抽出し、GPSとITVカメラ（前方・後方左右）で空洞と思われる箇所を検知。

<仕様> 探査深度:1.5m以内 探査速度:45km/h



地中レーダーアンテナ



地中レーダーアンテナ

歩道探査車

<仕様>  
探査深度:1.5m以内  
探査速度:5km/h



ハンディ型地中レーダー

<仕様>  
探査深度:1.5m以内  
探査速度:5km/h

路面下空洞探査車を用いた空洞調査の流れ

- ①一次調査  
概查的調査、医学界における「レントゲン」  
路面下空洞探査車・歩道探査車を使用
- ②判定会議
- ③二次調査  
精査的調査、医学界における「胃カメラ」  
ハンディ型地中レーダー・スコープ調査機器・  
空洞内部状況カメラを使用
- ④空洞補修



道路付属物の点検



道路のり面・土工構造物の点検



道路付属物の点検